

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
オリジナル作品制作 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	鈴木一義 / Ryuta			実務 経験	有	職種	音楽家				
担当教員紹介											
Ryuta / Roland社製シンセサイザーのデモンストレーター、キーボーディスト・ボーカリスト・作編曲家、オカリナ奏者 キーボーディストとして数多くのコンサートやレコーディングに参加。特にゲーム・アニメ系の現場は多く「Game Symphony Japan」「Animation Symphony Japan」それぞれのレジデンシャルアーティストとして継続して参加。また、アーティストへの楽曲提供から、カラオケ制作や譜面作成 CM やイベントでのBGM制作とレコーディング、吹奏楽曲の作編曲まで幅広く請け負っている。オカリナ奏者としても活動し、CD「アナスタシア～天空のセレナード～」をリリース、同CDのレコ発ワンマンライブを決行。											
授業概要											
クリエイターとボーカリストがチームとなり、それぞれが持つ苦手分野(クリエイターは作詞を強化、ボーカリストはコード、キー、の理解、また DAW の操作も習得する)を互いにフォローしつつ、一曲グループ制作する。共同でメロディー（旋律）を作るようになる。コライト方式で楽曲制作に取り組んでみる。											
到達目標											
修了ライブに向けて或いは個人のアーティスト活動やオーディションで披露出来るような、オリジナル楽曲を作るようになる。これまで作曲をやったことがない子も、この授業でオリジナル曲を制作してみる。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
授業方法											
この授業では音楽理論の授業や作詞の授業など他の授業科目で学んだことを生かしながら、チーム制によって楽曲の旋律がかかるようになることを目的とします。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
授業中の私語や受動態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	キーの中でメロディを作る										
第2回	ダイアトニックコードからケーデンスを作る										
第3回	コードの種類										
第4回	アボイドについて										
第5回	ダイアトニックコードの復習										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
オリジナル作品制作 4	
第6回	コードにメロディーを乗せるときの注意として、コードトーンを理解する
第7回	コードトーン及びアボイドの一についての再確認
第8回	メロディを鼻歌などで作り、そこにコードを当てはめる
第9回	楽器を使ってメロディを演奏し、正しい音を確認する
第10回	アボイドを意識しながらコードを並べていく
第11回	メロディが先の場合、何のキーなのかを理解する
第12回	キーから導き出したダイアトニックコードを使用してのコード付
第13回	サビを意識してメロディを作ってみる（8小節）
第14回	どう盛り上げるのか、そのラインづくり
第15回	サビ部分を全班が発表していく